

CSR通信 Vol.19

【発行】社会福祉法人 品川区社会福祉協議会
品川ボランティアセンター
〒140-0014 品川区大井1-14-1
大井一丁目共同ビル2階
電話：5718-7172 FAX:5718-0015
HP：https://shinashakyo.jp/volunteer/index.html

●しながわCSR企業連絡会とは・・・

品川区に事業所を有する企業や団体等の社会貢献活動が円滑に行なわれるように、各種調整や情報交換を行うことを目的とし平成19年に発足しました。

事務局を品川区社会福祉協議会に置いています。

●第30回しながわCSR企業連絡会

令和5年2月22日に、オンラインで開催しました。概要をご案内します。



1 活動紹介

①:「コロナ禍における社会貢献活動について」

第一生命保険株式会社品川支社 生涯設計推進グループ 課長 川上 泰弘氏

★: 自社で取り組む社会貢献活動

より良い社会を未来へつなげるために、3つのしあわせをテーマに全社で社会貢献活動を行っています。コロナ禍以降の社会貢献活動の取組を紹介します。

①みんなのしあわせ

医療関係者を励ます活動として、地域の方に応援メッセージを書いていたいただきました。活動期間は半年。12,776通のメッセージが集まり、ポスター、冊子にまとめ、医療機関に配布しました。本業である資産形成、継承の部分では1人ひとりに応じた生涯設計プラン、資産形成セミナー、相続個別相談会、iDeCoのご案内、中学校・高校への出張授業(ライフサイクルゲームを体験するイベント)も開催しました。

その他、地域のダンス教室と協働で親子ダンス教室、企業と協働し親子プログラミング教室も開催し、自社で提供できる機会提供を通じ地域社会とのつながりを深めました。

②地域のしあわせ

コロナ禍で飲食店を中心に地域のお店が苦しい状況にあり、営業職300人でPRなら出来るのではと考え、カレンダー・マガジン形式にてお店をPRしました。786件の店舗・企業を掲載。

地域情報誌では自社の社会貢献活動に加え、品川社協が地域に伝えたい情報等も発信。情報誌と一緒に障害者施設の自主製品もお届け。障害者施設の支援と共に、社員の障害者福祉への理解を深める活動という意味も込め活動しています。その他、社内で募金活動をし、社協に寄付をするなど、社協事業の支援も行っています。

③地球のしあわせ

社員の多くが主婦ということもあり、家庭・地域のフードロスという観点から社内でフードドライブ活動を行いました。その他、地元の企業から絶版になった本をご寄付いただき、児童施設へ絵本の寄贈もしました。大田区では、地域の方同士のリユース活動も行っています。また、生命保険会社は紙を使うことが多いのですが、デジタル推進を行い、ペーパーレス化を図っています。

★: 自社の強み、今後に向けて

300名の営業員がいることが強みです。営業員のチャンネルを通じて、機動的に活動を行っています。活動をしていく中で、多くの地域の方に発信していくには、機動力が重要です。連携したい団体様、企業様がありましたら、ぜひお声かけください。

■質疑応答

ボランティアセンター:

「社協と連携をするようになったきっかけは？」

→以前から地域や社協と連携をしていたが、コロナをきっかけにし、地域の方のためにどうしたら役に立てるのかを考えるようになった。2020年の上半期は営業活動を自粛。この半年間で社会貢献活動を強化することとなった。

三英電業株式会社: 社内でフードドライブの活動をしていると報告がありましたが、どこに寄付をしていますか？

→品川社協に寄付し、配布先は社協が決めています。大田区では、地域のNPO、団体等に配布できるものを集めるイベントを開催しています。品川区や社協に聞いてみてはどうでしょうか。

②:「若者の社会参加に向けた取り組み」 セブン-イレブン 品川東大井5丁目店 山中 崇広氏

★社会貢献活動内容:

小中学生の職業体験の受入、品川社協の若者等社会参加応援事業(以下、エールしながわ)のお手伝いをしています。本日はエールしながわでの取組を紹介します。エールしながわ体験者に社会体験としてお店に来てもらい、ご自身で選んだ作業をしてもらっています。体験者で絵が得意な方がおり、POP作りを選択。POPの効果もあり、売上が好調で想像以上にお店に利益がありました。

★社会体験受入れ時注意をしていること

①プレッシャーになりそうなものを出るだけ取り除く
難しい作業、対人作業は避け、シフトの時間等も考慮。また、ユニフォームを着用することでお客様より店員と間違えられるため、エプロンで作業。

②受入れ時間

トラブルを未然に防ぐため、日中のゆったりしている時間で受入。

③既存の従業員への説明

エールしながわ職員が推薦する方の受入となると説明。清掃等に関しては自身が行うよりも丁寧に清掃してくれ、アルバイトや従業員が持っていないもの、思いがけぬ力を持っている人もいます。

★なぜ、社会体験を受入れはじめたのか

①人手不足でやりたい作業ができない(人件費がない)

②YouTubeを見た

ドキュメンタリー番組で、事情があり働くことの難しい若者たちに、変わった働き方(短時間労働)ができるカフェがあることを知った。若者たちが外に出るきっかけを作っていた。この動画を見て、自分にもできることはないかと考え、社協へ相談し、今に至る。

★今後の展望

①社会『体験』のみではなく、社会『復帰』への環境を整える。

②新たに受け入れられる体制を整えたい

社会体験の場、社会体験後の復帰の場が少ないと聞いています。可能な限り受入れたいとは思っていますが、自分たちの力だけでは足りないため、本日参加している企業・団体で賛同して下さるところがあればぜひご協力をお願いします。

■質疑応答

NPO法人 教育サポートセンターNIRE

「NIREでも社会体験の活動をしています。今後POPなど、作業提供できるものはありますか？」
→スペースの関係上、事務所裏のスペースで複数人でPOPの作成することは難しい状況です。資料を渡し、別のところでPOPを作成してもらえると効率よくできるのではないかと思います。

2 情報交換

①: 団体からのお願い

・NPO法人教育サポートセンターNIRE・モノプロしながわ: 企業の中で切り分けられる作業などがありますか。会議のため、会場設営が必要となり机出しに5人来て欲しいという依頼等でも構いません。撮影、イベントの動画配信、契約書等のハントスキャン・デジタル化等もあれば、経験があるためご依頼ください。こういう作業はできますかというような相談も可能。作業内容の難易度もありますが、喜んで対応します。

・NPO法人パルレ: 作業を区切って行える仕事(超短時間労働)が出来ると就労困難な若者たちも働きやすい。一度、企業等とお話をしたい。

・NPO法人 難民を助ける会

トルコへ地震直後より支援をしています。ご寄付いただく中で一番ありがたいのが寄付金です。寄付金を現地に送金し、現地で必要な物資を購入することができます。その他、チャリティ商品も販売しており、商品を購入いただくと支援につながります。お知り合いの方など周知いただけると嬉しいです。

②: 事務局からの連絡事項

次の開催は7月を予定しています。登録企業・団体へ聞きたい事、取り上げてもらいたいテーマ等がありましたらご連絡ください。

第30回 しながわCSR企業連絡会 参加企業・団体(順不同) お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました!

【団 体】 NPO法人教育サポートセンターNIRE・NPO法人難民を助ける会・NPO法人パルレ・NPO法人ICT救助隊・NPO法人しながわチャイルドライン・認定NPO法人プラチナ美容塾・一般社団法人モノづくり×プログラミングforShinagawa・NPO法人ウーヴ

【企 業】 ネットワンシステムズ株式会社・東芝テック株式会社・三英電業株式会社・愛知産業株式会社・東芝エレベーター株式会社東京支社・第一生命保険株式会社品川支社・ピツニーボウズジャパン株式会社・小澤物産株式会社・協栄産業株式会社・合同会社ヤマナカ

【品川区】 地域振興部地域活動課協働推進係